

記入見本：妻が外国籍の場合

婚姻届

令和 7 年 6 月 20 日 届出

在マレーシア日本国 大使 殿
総領事

理 令和 年 月 日

第

この欄に記入した外国籍妻の氏名(原則カタカナ)が、戸籍に記載されます。小書き文字(例:ッ)を使用する場合は、文字サイズを明確に小さく記入してください。

【夫の欄】戸籍に記載の通り、ハイフン等を使用せず、都道府県名から地番まで正確に記入してください。

【妻の欄】国籍を記入してください。

フリガナはカタカナで記入

(フリガナ)	夫 になる 人		妻 になる 人	
	ガイム	ショウイチ	タン	メイリン
氏 名	氏	名	氏	名
生 年 月 日	外務	省一	タン	メイリン
	昭和 60 年 8 月 28 日		西暦 1990 年 2 月 20 日	
(2) 住 所	マレーシア国スランゴール州ベタリンジャヤ市 セクション17 17/6通り		左に同じ	
	住所は日本語で記入 サクラコンドミニウム A-1-1		外国籍父母の氏名は 日本語で記入	
(3) 本 籍	東京都目黒区		マレーシア	
(外国人のときは 国籍だけを書いてください)	下目黒二丁目19		番地	
	筆頭者の氏名 外務 一郎		筆頭者の氏名	
父 母 及 び 養 父 母 の 氏 名 父 母 と の 続 き 柄	父 外務 一郎	続 き 柄	父 タン ウヨン	続 き 柄
(右記の養父母以外にも 養父母がいる場合には その他の欄に書いてください)	母 小春	長 男	母 リー ボーリン	二 女
	養父	続 き 柄	養母	続 き 柄
(4) 婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	□夫の氏 新本籍(左の□の氏の入がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かなくていい)		□妻の氏 東京都目黒区下目黒二丁目19	
(5) 同居を始めたとき	平成・令和 5 年 12 月		(結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)	
(6) 初婚・再婚の別	☑初婚 再婚(☐死別 ☐離別) 年 月 日		☐初婚 再婚(☐死別 ☑離別) 西暦2020 年 3 月 1 日	
(7) 同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事と	夫☑妻☐ 夫☐妻☑ 夫☐妻☐ 夫☐妻☐ 夫☐妻☐ 夫☐妻☐		【既に同居している方】 本欄に同居開始又は結婚式(挙行済みの場合)の年月のうち、早い方を記入。 【既に結婚式は行ったが、まだ同居していない方】 本欄に結婚式の年月を記入し、その他の欄に「まだ同居していない。」と記入。 【同居・結婚式のどちらも行っていない方】 本欄には記入せず、その他の欄に「まだ結婚式も同居もしていない。」と記入。	
(8) 夫 婦 の 職 業	(国勢調査の年 夫の職業 01		妻の職業 00	

令和 7 年 6 月 13 日 マレーシア国 の方式により婚姻成立、スランゴール州 ベタリン地区 作成の婚姻証書添付。 国民登録所 同登録官

婚姻後の新本籍を、ハイフン等を使用せず、都道府県名から地番まで正確に記入してください。

【新しい本籍を、婚姻前(現在)の本籍とは異なる場所に設定する方へ】
当館での婚姻届の手続きに先立ち、「新しい本籍の場所が、本籍地として設定できるか」に関して、管轄する市区町村役場にあらかじめ確認してください。

署名欄・押印欄共に、blankのままで当館に持参願います。届出人となる日本国籍の夫になる方に、当館窓口にて署名いただきます。(押印は任意)

届 出 人 署 名 (※押印は任意)	夫	妻
	印	印

職業例示表(「婚姻届に係る記入上の注意点(共通)」の項に掲載)を参照し、「最も近い職業分類の番号」又は「具体的な職業名」のいずれかを記入してください。

電話番号は、日中に連絡可能なものを記入し、メールアドレスは誤送信防止のため、読み方を補足の上、丁寧に記入してください。

Mobile: XXX-XXXX-XXXX

E-mail: g2134q5s8_sample@ne6r7o90

ジーイチキュー アンダー エムエル エヌ アールオーセロ